

# よぞらをみあげて



## たなばた (E ハ)

きみしま ひさこ さいわ かつやま しげる が  
君島 久子／再話, 初山 滋／画  
ふくいんかんしよてん  
福音館書店

あまのがわのひがしに住むてんによのおりひめと、にしがわにすむ人間のうしかいがふうふになり、しあわせにくらしていましたが、やがててんによは天へかえってしまいます。うしかいはおりひめのあとをおいかけますが…。うつくしい絵で天のせかいをえがきます。

## よぞら 夜空をみあげよう (E シ)

まつむら ゆりこ ぶん  
松村 由利子／文,

ジョン・シェリー／絵 福音館書店



はるかとおとうとのじゅんが星空をかん

さつするようすをとおして、かんさつの方法や星座などについて知ることができる科学絵本です。とくに夏の夜空についてくわしくかかれています。さいごはながれ星を見るために、かぞくでキャンプにでかけますよ。

## みんな、星のかけらから (E ス)

ジーン・ウィリス／文, ブライオニー・メイ・スミス  
／絵, 石井 睦美／訳 フレーベル館

なんでもできるスターみたいなおねえちゃんのようになりたい女の子が、夜空を見あげていると、おじいちゃんが宇宙のはじまりについておしえてくれました。だれもが星から生まれ、星のようにかがやくことができるということばにゆうきをもたらした女の子はやがて…。一人ひとりが大切なそんざいだと気づかせてくれる絵本です。

## そら うま しちにん 空とぶ馬と七人のきょうだい (E ホ)

イチンノロブ・ガンバートル／文, バーサンスレン・  
ボロルマー／絵, 津田 紀子／訳 廣済堂あかつき

鳥の王ハンガリドにさらわれた七人の王女をたずけるため、七人のきょうだいが空とぶ馬にのって旅に出ます。

それぞれの力をいかにして敵にたちむかうようすがおもしろいモンゴルの昔話で、北斗七星のゆらいについて語ります。

## ほしづきよ ケイティと星月夜 (E メ)

ジェイムズ・メイヒュー／作, 西村 秀一／訳,  
ゆうき まきこ かんしゅう サイエニスト社

ケイティが美術館でゴッホの「星月夜」という絵を見ていると、絵のなかの星がうごいたように見えました。絵に入ると星をつかまえますが、ケイティが絵から出たとたん、星たちもとびだしてしまいます。ケイティはほかの絵にまぎれこんだ星たちをつかまえながら、いろんな絵について知っていきます。

## ほし 星どろぼう (E ロ)

アンドレア・ディノト／ぶん,  
アーノルド・ローベル／え,

やぎた よしこ／やく ほるぶ出版

山にすむどろぼうはある夜、はしごをつかって空にのぼり、星をぜんぶとってしまいました。ちかくの村は星がきえてしまったのでおおさわぎ。どろぼうをつかまえて星を空へもどそうとしますが、どうすればいいのかわかりません。村の人たちはいっしょうけんめいかんがえませんが…。



## ほし こ 星の子ども (E ウ)

グリム／原作, バーナデット・ワッツ／絵,

おおつか のりこ／訳 富山房

心やさしいマチルデはかぞくも家もなく、もっているのはきている服とパンだけでした。しかし、こまっている人を見ると自分のパンや服を少しずつ分けていきます。やがて、すべての服をあげてしまったマチルデにきせきがおこります。

## ほしのおんがくかい (E サ)

さいとう まき せかいぶんか  
齋藤 槇／作 世界文化ブックス

よる、ハリネズミともぐらがいっしょ

にお茶をしていると、空からながれ星がおちてきました。それはほしのこども



で、おんがくかいのれんしゅうをしていたらうっかりおっこちてしまったと言います。ふたりはほしのこどもが空にもどれるようてつだうことにしますが…。

## ほし ししや 星の使者 ガリレオ ガリレイ (E シ)

ピーター・シス／文・絵, 原田 勝／訳 徳間書店

昔の人は、地球が宇宙のまん中で、太陽や月や星は地球のまわりをまわっているとかんがえていました。でも、それはちがうと思った人がいます。イタリアにうまれたガリレオは自分でぼうえんきょうを作り、星をかんさつしました。いろいろな星をみつけて有名になりますが、地球は宇宙のまん中でないと言ったことでばつをうけてしまいます。ガリレオの伝記絵本。